九州運輸局メールマガジン　平成30年6月7日　第385号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成30年6月21日（木）です。

■ 目 次

１　現場リポート
◆女性ドライバーのための労働環境を！～福岡地区第一交通女性会議に参加しました～
◆5月12日（土)及び5月13日（日）サンセットマリーナ（長崎県長崎市）において「長崎マリンフェスタ」が開催されました
◆台湾鉄路管理局・平渓線との姉妹鉄道協定締結～平成筑豊鉄道を世界に羽ばたく観光路線に～

２　運輸安全推進室だより　Vol5
◆ヒヤリ・ハットは宝の山！
～１つの重大事故の背景には300の異常が～

３　九州運輸局ホームページアップ情報
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

１　現場リポート

◆女性ドライバーのための労働環境を！
～福岡地区第一交通女性会議に参加しました～

◎福岡運輸支局輸送部門では、4月25日に第一交通グループが開催する「福岡地区第一交通女性会議」に出席しました。

◇内容
・この会議は、人手不足が深刻なタクシー業界において女性の働きやすい職場環境づくりを行おうとするもので、女性タクシードライバーだけでグループワークを行い、出た意見を社長たちと交換する形で行われました。
・参加者から防犯ボードを大きくしてほしい、鍵付きの女性専用ロッカーを設置してほしいといった環境改善につながるものや、タクシードライバーが子育てと仕事が両立しやすい環境で、女性が活躍できる職場であることをPRしてはどうかといったものなど様々な意見がでました。
これらの意見に対し、福岡第一交通の谷口社長は「防犯ボードは、直ぐに発注を行う。」など、とその場で女性ドライバーからの意見や要望に、スピーディーに対応されていました。

◇九州運輸局からのメッセージ

　現在、運輸業界は、タクシーだけでなく、バス、トラック、海運業界においても、運転手（船員）不足が深刻です。同時に運転手の高齢化も加速度的に進んでおり、安全上の問題も指摘されているところです。
男性の職場と思われがちな運輸業界において、女性の活躍できる環境を女性が提案していく取組はとても有効で効果的であると思います。このような取組を業界全体に広げていくことは、人手不足の問題の解決策の１つであると考えています。
国土交通省では、このような女性ドライバーの新規就労・定着を図る事業者を「女性ドライバー応援企業」として認定する制度を設けていますので、積極的に応募いただけると幸いです。（第一交通グループは女性ドライバー応援企業認定企業です。）

　（国土交通省 HP「「女性ドライバー応援企業」　認定制度」）
　http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000081.html

◇福岡地区第一交通女性会議の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_385_1.pdf
---
◆5 月 12 日（土）及び 5 月 13 日（日）サンセットマリーナ（長崎県長崎市）において「長崎マリンフェスタ」が開催されました

◇内容
・長崎マリンフェスタは、1995 年にサンセットマリーナがオープンしてから開催されるようになりましたが、この 10 年は毎年連続で開催され、昨年は 1062 名の来場者がありました。マリンレジャーに接し、海の素晴らしさや楽しさを経験することで、特に若者のマリンファンを増やすことを目的としています。
・今回は昨年以上の出展があり、イベントも増えました。特に釣り具の出展は初めてですが、釣りファンのお客様も来場し、ルアーフィッシングを体験していました。親子で楽しめる抽選会やボートの試乗会も催され、試乗者は 293 名となりました。
・土曜日は好天に恵まれましたが、日曜日は雨となったものの 2 日間で 1016 名の来場があり、会場は賑わいました。来場者は 30～40 歳代のお子様連れの方が多く、「若者のマリンファン」を増やすことができたようです。

◇長崎マリンフェスタの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_385_2.pdf

---
◆台湾鉄路管理局・平渓線との姉妹鉄道協定締結
～平成筑豊鉄道を世界に羽ばたく観光路線に～

◇内容
・5 月 19 日(土)、九州では初となる台湾鉄路管理局　平渓（へいけい）線との姉妹鉄道としての鉄道協定の調印式が田川市の田川伊田駅において行われ、九州運輸局から加賀局長が出席し、祝辞を述べました。

・平渓線は、台湾北部の新北市を走るローカル線。新北市瑞芳区の三貂嶺駅から同市平渓区の菁桐駅の全７駅に亘る台湾鉄路管理局の路線距離 12.9 kmの路線です。
・1921 年に炭鉱開発のために敷設された平渓線は、現在は観光路線として人気を集めており、両鉄道は石炭輸送の専用路線だった同じ歴史をもつことから姉妹協定を締結したものです。
これを受けて、今夏には両鉄道が発行する１日乗車券を活用した相互利用サービスを始める予定としています。

◇九州運輸局からのメッセージ
平成筑豊鉄道では、少子高齢化などにより公共交通の利用者が減少するなか、河合社長自ら地元の高校生と鉄道利用について意見交換を実施し、一緒になって駅の改修を行うなど、地域と一体となって利用者の増加等に取り組んでいます。
台湾鉄路管理局　平渓線についても、台湾新北市郊外の景勝地を運行し、地域の移動手段としてだけではなく、地域と一体となって観光客誘致に向け取り組まれています。
今回の姉妹鉄道協定を通じ両者間での更なる交流が図られ、両鉄道の利用者が益々増加していくとともに、地域の振興にも結びついていくことを期待しています。

◇平成筑豊鉄道調と台湾鉄路管理局の調印式の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_385_3-2.pdf

――― ２　運輸安全推進室だより ―――――――――――――――――――――――
・同じ事故を二度と繰り返さないことが最重要であることはもちろんですが、取組に一定の成果が出てきたり、マンネリ化して思い通りにいかなくなった時には、次に「事故が起きるかもしれないと思ってヒヤッとした、ハッとした出来事」の情報を収集します。
・ヒヤリ・ハットを集める目的は、ヒヤリ・ハットの段階、すなわち事故やインシデントといった不具合事象が発生する以前の段階で対策を立て、このような事故や発生を未然に防止しようというものです。
・事故が起こる前に対策を立てることで、自社の損失を未然に防ぐことから「ヒヤリ・ハットは宝の山」とおっしゃる会社もあります。

◇図解入りの詳しい説明は下記をご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_385_4.pdf

――― ３　九州運輸局ホームページアップ情報 ―――――――――――――――
--- **◆報道発表** ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU

--- ◆お知らせ ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE

--- ◆更新情報 ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

/////// 編集部だより //

梅雨に入りました。昨年の同時期、九州北部はまだ梅雨に入っていなかったようですから、だいぶ早い梅雨入りとなったようです。今号の長崎マリンフェスタの記事でもうち1日は雨だったとありますが、この時期のイベントは開催する側も参加する側も非常に天気が気になるところです。それでもいつもと雰囲気が違ったりして雨には雨のいいところもあります。6月も各地で様々なイベントがありますので晴れでも雨でもその雰囲気も含めて楽しみたいなと思います。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312　Fax : 092-471-7192